

新卒者看護過程研修 ～個別性のある看護を実践しよう～

研修日：7月3日

新卒者67名が看護過程研修を受講しました。講義では、看護過程の概要や情報の整理・統合、ゴードンの機能的健康パターンの解釈、看護診断と患者目標・看護介入の関係などを学びました。グループワークでは事例を用いて看護診断の優先順位を検討したり、「ND嚥下障害」について患者目標と看護介入を考えました。



講義を受け、「患者の強み・気がかりに着目することで個別性に沿った看護過程の展開につながることを認識した」という声が多く聞かれました。



インタビュー演習では看護師役・患者役となり、お話を伺う際の基本的姿勢やコミュニケーション技術を学びました。



グループワークでは、**臨床推論モデル**を使用し患者目標や看護介入を論理的に考えました。患者に必要な看護は何か、活発に意見交換を行っていました。



各グループには**ファシリテーター**として看護診断力アップチームが参加しました。

ファシリテーションとは・・・
話し合う人々が遠慮なく発言できる場をつくり、コミュニケーションを円滑にすることで、主体的に学び合うことを支援する技法。この働きを担う人を「ファシリテーター」と呼ぶ。



看護過程研修操作研修 研修日：7月11日



アセスメントデータベースの入力方法を学びました。事例の情報をもとに研修端末で入力しました。看護計画やコメントの入力方法についても実際に入力を体験しました。